2024 年度　長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	環境経済学（Environmental Economics） 2013-0-13-039					担当教員	石川　英樹 （イシカワ　ヒデキ）		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1 年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要
環境問題を経済の視点で捉える能力を身に着け、環境問題の実態や環境政策の意義について理解することを目標とする。近年社会的に関心が高まる SDGs で環境関連分野は大きな柱の 1 つである。持続可能な社会づくりの視点も含めて考察できる能力向上を目指す。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
専門的知識・技能を活用する能力を育成する授業である。
③ 授業の進め方・指示事項
毎回、配布資料により解説を行い、演習問題による理解の確認と知識定着を進める。期末試験に加えて数回の小テストにより、平素からの学びの成果を確認する。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
「環境と社会」「ミクロ経済学」
⑤ テキスト（教科書）
特にもうけない。各回、必要に応じて資料・レジュメ等を配布する。
⑥ 参考図書・指定図書
三橋規宏『環境経済入門（日経文庫）』日本経済新聞出版、 栗山浩一・馬奈木俊介『環境経済学をつかむ〔第 4 版〕』有斐閣
⑦ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
（ⅰ）環境問題の基本的な事項を他者に説明できる。 （ⅱ）環境問題と経済との関わりについて、ミクロ経済学の理論等を用いて他者に説明できる。 （ⅲ）環境問題に対する政策などの取り組みの基本について他者に説明できる。

⑧　ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(ｉ) 環境問題の基本的な事項	環境問題の基本的な事項等に関して資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	環境問題の基本的な事項に関して資料等に頼らず説明できる	環境問題の基本的な事項等に関して資料等を見ながら説明できる	環境問題の基本的な事項等に関して資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	環境問題の基本的な事項等に関して資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
（ⅱ）環境問題と経済との関わり	環境問題と経済との関わりについて各内容・目的・課題を資料等に頼らず他者に説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	環境問題と経済との関わりについて各内容・目的・課題を資料等に頼らず説明できる	環境問題と経済との関わりについて各内容・目的・課題を資料等を見ながら説明できる	環境問題と経済との関わりについて各内容・目的・課題を資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	環境問題と経済との関わりについて各内容・目的・課題を資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
（ⅲ）環境問題に対する政策などの取り組み	環境政策等の取り組みを資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた分析も説明できる	環境政策等の取り組みを資料等に頼らず説明できる	環境政策等の取り組みを資料等を見ながら説明できる	環境政策等の取り組みを資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	環境政策等の取り組みを資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない

⑨　学習到達目標（評価項目）	定期試験（レポート含む）	小テスト	課題	発表・実技	授業への参加･意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%			30%		100%
（ｉ） 環境問題の基本的な事項	10%	5%			10%		25%
（ⅱ） 環境問題と経済との関わり	20%	10%			10%		40%
（ⅲ） 環境問題に対する政策などの取り組み	20%	5%			10%		35%
フィードバックの方法	小テストの評価は毎回フィードバックする						

⑩　担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
小テスト結果は返却して解説する。環境関連の時事ニュースなども積極的に取り上げる。

⑪　授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	オリエンテーション 環境問題を経済の視点から考える	配布資料によるオリエンテーションの内容と環境問題と経済の関係の基本の振り返り	60 分
2	外部不経済としての環境問題、日本の環境問題の変遷～構造変化①（環境衛生問題、地域環境問題）	配布資料で外部不経済、環境問題の変遷を振り返り	120 分
3	日本の環境問題の変遷～構造変化②（地域環境問題、生活者起源の環境問題）	配布資料で環境問題の変遷を振り返り	120 分
4	「環境経済学」基礎①～需要曲線と供給曲線とその応用	配布資料による環境経済学基礎の振り返り	120 分
5	「環境経済学」基礎②～私的限界費用と社会的限界費用、資源配分のゆがみ、ピグー税	配布資料による環境経済学基礎とその応用の振り返り	120 分
6	「環境経済学」基礎③～環境税について、森林環境税、世界の動向	配布資料による環境経済学の応用、環境税等に関する振り返り	120 分
7	「環境経済学」基礎④～課徴金制度など 環境政策手段：規制的手法と経済的手法	配布資料による課徴金制度など、環境政策手段の概観の振り返り	120 分
8	規制的手法から経済的手法へ 主要な経済的手法～カーボンプライシング等	配布資料による主要な経済的手法の振り返り	120 分
9	カーボンプライシングの具体内容①～税、排出量取引	配布資料によるカーボンプライシングの振り返り	120 分
10	カーボンプライシングの具体内容②～クレジット取引、廃棄物政策①～概観	配布資料によるクレジット取引、廃棄物政策概観の振り返り	120 分
11	廃棄物政策②～廃棄物政策の枠組	配布資料による廃棄物政策概観の枠組みの振り返り	120 分
12	廃棄物政策③～個々の制度（一廃と産廃、容器包装ごみなど）	配布資料による廃棄物政策の個々の制度の振り返り	120 分
13	廃棄物政策④～個々の制度（廃家電品）、廃棄物関連の経済的手法について	配布資料による廃家電品関連取り組み、経済的手法の振り返り	120 分
14	SDGs と環境問題	配布資料による SDGs と環境問題の振り返り	120 分
15	全体の振り返り	授業内容全体の振り返り	180 分

⑫　アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。新聞記事などを用いた現実の現象説明への応用にも取り組む。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬　実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性